

# News Release

広報 第 27-0020  
令和元年 6 月 7 日



## 報道関係者の皆様へ

### 「おかげ横丁 七夕の節句」開催のお知らせ

(諸事情により内容に一部変更が生じることがございます。予めご了承ください。)

7月7日は五節句のひとつ「七夕」です。各地でさまざまなお祭りや行事がおこなわれる夏の風物詩。おかげ横丁でも、笹の葉ゆれる夏空を楽しんでいただこうと、様々な催しを行います。

つきましては、下記をご一読いただき、貴社を通じてご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 開催趣旨



七夕の行事は二千年以上も昔に中国で生まれ、日本には、奈良時代に伝わったとされています。そして、江戸時代になると、短冊に願いごとを書き、笹を飾るようになりました。この風習は、今も全国各地に残っています。

古き良き七夕の行事を大切にして、皆さまも星に願いごとをしてみてくださいはいかがですか。

※奈良や平安の昔、宮中では、機織はじめ技芸の上達を星に願う「乞巧きっこうでん殿」という行事がありました。これが江戸時代の七夕の風習のきっかけになりました。

開催日時：令和元年6月29日（土）～7月7日（日） 10：00～17：30

開催場所：おかげ横丁一帯

## ■七夕飾り おかげ横丁一帯にて

昔ながらの七夕飾りを店先に飾り、町全体で七夕の節句をお祝いします。

笹竹の傍に短冊を用意していますので、願い事を書いて笹竹の枝に飾ることもできます。

※七夕飾りは7種類あり、裁縫の上達や無病息災、延命長寿など、それぞれ意味が込められています。

日時：6月29日（土）～7月7日（日）10：00～17：30



## ■七夕の市 赤福別店舗側「特設屋台」にて

七夕の風習に触れ、その風情をお楽しみいただける夏の風物を揃えます。また、素麺の原型といわれ、厄除けとして、古来宮中で七夕に食されていたといわれる

「さくへい索餅」など、七夕にちなんだ食べ物も販売いたします。

日時：6月29日（土）～7月7日（日）10：00～17：30



## ■手作り教室 おかげ横丁内「特設会場」にて

和紙を使って吹き流しや編み飾りなどの昔ながらの七夕飾りを作ったり、夏らしいうちわや風鈴に絵付けしたりしていただけます。

日時：6月29日（土）～7月7日（日）10：00～17：30（受付16：30まで）

七夕飾り作り：200円、てるてる坊主作り：200円、うちわの絵付け：500円、風鈴の絵付け：1,200円

## ■松阪もめん 機織体験 おかげ横丁内「特設会場」にて

七夕伝説の織姫と彦星。織姫は機織りの名手といわれています。

今でも七夕には、棚機女（たなばたつめ）という巫女（みこ）が、水辺の棚の上に設けられた機屋に入り、棚機（たなばた）と呼ばれる機織り機を使って先祖にささげる衣を織りあげ、それを祭って収穫の無事を祈っています。

昔ながらの機織り機で、足をばたばた踏みかえて機織りに挑戦し、コースターを作っていただきます。

日時：7月6日（土）、7日（日）10：00～17：30（受付16：30まで）

料金：600円

協力：松阪もめん ゆうづる会

## ■笹舟で遊ぼう 森翁館横「特設会場」にて

笹の葉を使って、小さな舟をつくって遊びませんか。昔、子どもたちは笹舟を作り川に流し、「織姫と彦星が無事に会えますように…」と願ったそうです。大人には懐かしく、子どもたちには新しい自然の遊びです。

日時：7月6日（土）7日（日）10：00～17：30

料金：無料

